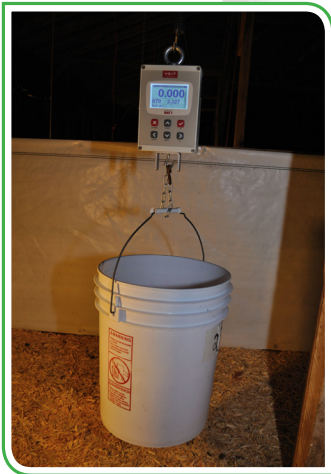


## なぜ0-21日齢のブロイラーを群体測するのか？

定期的に平均体重を正確に予測することは、下記を可能とします：

- 鶏群成績を正確にモニタリング。
- 可能性がある成績上の問題を特定する。
- 最終製品の規格を可能な限り忠実に再現。



## 0-21日齢のブロイラーの群体測方法

### トリの取り扱い

トリは適切な訓練を受けた人によって、穏やかに適切な方法で取り扱われなければなりません。常にトリのウェルフェアを優先しなければなりません。

### 必要なもの

1. 10g (0.02 lb) 刻みで、 $\pm 20\text{g}$  (0.04 lb) の精度であり、10kg (22 lb) 以上量ることができる電子またはアナログ秤。
- 異なったタイプの計量機（写真左と右）の例—1箱または複数の箱重量を計量する台秤とアナログ秤。



2. ペンや鉛筆。
3. 体重記録表。
4. アナログ秤を用いて体測する場合は関数電卓。

**注** - すべての体測計は、正確に測定し、正しい体重管理を維持するために定期的（毎回の測定開始時および終了時）にキャリブレーションする必要があります。

## 方法 - 0日目(入雛日)

1棟につき、少なくとも3箱は測定する。

**ステップ1** 計量器に空箱と蓋を乗せ、ゼロにしておく。

**ステップ2** 箱の中にヒナを入れ、蓋をしてヒナと箱の合計重量を量り、記録する。

**ステップ3** それぞれの箱で計量したヒナの数进行、ヒナの数を記録する。

**ステップ4** ヒナの平均体重を計算する。

**ステップ5** 全てのヒナの平均体重を体重表にプロットし、目標体重と比較する。



ステップ1



ステップ2

### 計算例：

$$\text{平均ヒナ体重 (g / lb)} = \frac{\text{箱内のヒナ総重量}}{\text{箱内のヒナ羽数}}$$

$$\text{平均ヒナ体重} = \frac{3200 \text{ g (7.05 lb)}}{80} = 40 \text{ g (0.09 lb)}$$

## 方法 - 7日目、14日目、21日目

**ステップ1** 箱やバケツのような空の計量容器(一度に10-20羽のヒナが入る大きさ)を秤の上に置き、容器を置いたまま秤を「ゼロ」にします。

**ステップ2** 捕獲用の網を使用し、1棟あたり少なくとも1%、または100羽(どちらか多い方)のサンプルを捕まえます。オスメス別飼育の場合は、オスとメスそれぞれ最低100羽ずつ(または全体の1サンプルは、鶏舎(またはオスメス別飼育の場合、それぞれのペン)を均等に分割した3箇所から採取する必要があります。サンプリングは、ドアや壁から離れた場所にするべきです。

**ステップ3** 一度に10-20羽を計量容器に入れ、満杯になった容器の総重量とヒナの数記録します。容器に入れるヒナの数は多すぎないようにし、ヒナがお互い重なり合わないようします。

**ステップ4** 容器からトリをゆっくりと元の鶏群に戻し、捕獲用の網内のトリが**全て**測定されるまで計量作業を繰り返します。これにより、選択的偏りが無くなるでしょう。

**ステップ5** 計量した全サンプルの重量を合計し、計量したトリの総数で割ります。

**ステップ6** 体重記録表にヒナの平均体重をプロットし、目標体重と比較します。



ステップ1



ステップ3



ステップ4

## 結果の見方

体重が予測した増加量と一致しない、または標準体重曲線と比べて異なる( $\pm 50\text{g}$  [0.11 lb]) 場合は、計量の正確性を確認するために、上記と同じ方法でその鶏群を再計量します。

最初の14日間に、正常な週間増体値から逸脱( $\pm 20\text{g}$  [0.04 lb])することは、計量の失敗に起因するものではなく、一般的に農場での入雛管理方法を見直す必要があることを示します。

**初期の目標体重が達成されていない場合は、次の必要があります：**

- 入雛環境を測定し、モニターし、対応する：
  - 鶏舎が、ヒナ到着の24時間前から温められている事を確認する。
  - 鶏舎内のヒナの高さの温度が、入雛時に $30.0^{\circ}\text{C}$  ( $86.0^{\circ}\text{F}$ )であることを確認する。
  - 最初の3-5日間は、鶏舎内の相対湿度が60-70%であることを確認する。
  - 鶏舎内の敷料温度が入雛時に $28.0-30.0^{\circ}\text{C}$  ( $82.0-86.0^{\circ}\text{F}$ )であることを確認する。
  - ヒナが十分に新鮮な水を飲める様に、給水場所が1m (3.3 ft)以内であることを確認する。
  - 育雛域の少なくとも80%が敷き紙や、および/またはトレイ(100羽/枚)で覆われ、篩にかけられた良質なクランブルやミニベレット飼料を与えていることを確認する。
  - 育雛域の照度は80-100 lux (7-9 fc)であることを確認する。
  - クロップフィルをチェックする。
- より栄養価の高いスターター飼料を与える。

## 詳細情報

- ブロイラーHow To; クロップフィル調査
- チャンキープロイラー飼養管理ハンドブック